

# まちの ニュース

## 南高梅出発式・ 収穫体験

6月4日、特産の南高梅の出発式が佐志の野菜集荷場で行われました。

式では、市山正弘梅振興会長のあいさつの後、関係者によるテープカットで出荷を祝いました。

今回は、約7トンの梅が出荷され、産地直送を主体とした生協やAコープなどで販売されます。

またその後、「地域まるごと産直収穫体験交流会」が行われ、コープの組合員約250人が参加し、市山会長の梅園で梅の収穫を体験しました。

参加者は、汗を流しながら大粒に実った梅を一つひとつ丁寧にちぎり、袋いっぱいになるまで詰めていました。

収穫を体験した後は、豚や茶の生産者なども参加して意見交換が行われ、生産者と消費者の交流が図られました。



大きく実った梅を収穫する参加者



関係者によるテープカット

## 職業体験学習

6月14日、薩摩中学校で職業体験学習が行われ、農業や福祉現場などでさわやかな汗を流しました。

1年生は、町内の8農家に5人〜7人のグループに分かれて、お茶摘みや牛の世話、梅の収穫などの農業体験を行いました。

2年生は、特別養護老人ホームで入所者の食事介助や歩行介助などの福祉活動体験を行いました。

3年生は、町内の郵便局や幼稚園・保育園などの職業体験を行いました。この職業体験で生徒は仕事の大変さ、難しさを痛感していました。



茶摘みを体験する生徒

## 宮之城高校吹奏楽部

### 第38回定期演奏会

6月19日、宮之城高校吹奏楽部第38回定期演奏会が宮之城文化センターで開催されました。

高校再編により新入生の入学がなく、現在2・3年生だけで活動されていますが、この日のために一生懸命練習を重ねられ、当日はコンクールの課題曲やアンサンブルなど様々な曲を演奏されました。

また、この日は大勢のOBの方々も駆けつけ、現役部員と一緒にOBステージを繰り広げ、『マツケンサンバ』など楽しい曲で演奏会を盛り上げました。



盛り上がった演奏会